【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	白石町立有明西小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「縦割り掃除や縦割り遊び」で、他の学年の友達と協力して活動し、上級生も下級生も互いに相手を思いやる心が育っている。 ・「自分から進んで」「笑顔で」「元気な声で」を合言葉に、あいさつができる児童が増えている。今後も、地域でのあいさつができるよう意識づけを図っていく。 ・落ち着いた1日をスタートしたり授業に集中したりすることができるように朝読書を取り入れていく。また、基礎基本の学力向上を目指し、タブレット端末を使って、ドリル問題を解く時間を設定したり家庭学習に活用したりして習熟を図っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	<p>人との関わりを大切にしながら、よく学びよく遊ぶ、幸せいっぱい西小っ子をめざして</p> <p>～ トライ&エラー&チアー ～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>トライ&エラー&チアー</p> <p>①思いやりの心をもってかかわろうとする児童の育成を目指す。 ②自ら気付き進んで取り組む児童の育成を目指す。 ③やる気を持って学び、高め合う児童の育成を目指す。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童が楽しい・分かる・できると思う授業の充実	○授業づくりのステップ123で、全項目において、ステップ3を達成した教員が85%以上。 ○単元テスト(国算)の知識・技能で平均85点以上。 ○「タブレットを使うことで、授業が分かるようになった」と答えた児童の割合が85%以上。 ○「授業や宿題等でタブレット端末を積極的に活用した」と答えた教員が85%以上。 ○読書に親しむことができた児童が85%以上。	・教師が「授業づくりのステップ123を意識した授業づくりを心がける。特に、児童が話し合う必要性が生まれるような問題提示や発問、場の設定を工夫することで、自分の考えを話すことができる児童が増え、学び合う姿を高めていく。 ・教科書を読むことができているが、文章理解の高まりが不十分なので、キーワードや問われていることを整理したり、図や表などに書き込みをさせたりする活動を継続していく。 ・基本的な知識を定着させるために、タブレットタイム等で復習をしていく。 ・教員のICT研修を年間2回以上実施する。 ・毎日の朝読書や図書室のイベント等で、読書に親しむ機会を設ける。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「なかよしファミリータイムや縦割り掃除で協力して活動することができた」と回答をする児童85%以上。 ○「自分や友達のよいところをみつけて、友達と仲良くすることができている」と回答をする児童85%以上。	・学校行事、縦割り活動、委員会活動等の中で、他者への「思いやり」を意識した取組を行う。 ・特別の教科道徳等と関連させた人権集会や総合的な学習の時間等と関連させた人権・同和教育を実施する。							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・職員連絡会の際に、気になる児童とその対策について話し合う機会を設け、いじめの未然防止・早期発見・早期対応・再発防止に努める。 ・心のお天気や生活アンケート等を定期的実施し、児童の様子を把握し、いじめの早期発見・早期対応に努め、情報共有を行う。 ・教育相談週間を設定して、児童の理解を深める。							
●健康・体づくり	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・行事や学習において、活動を通して達成したいめあてを児童と共に決定する。活動後は、めあて達成に近づいているかのどうかの振り返りを行い、児童の成長や頑張りを褒めて認める場を設ける。 ・上学年では、2分の1成人式や卒業式、ゲストティーチャーによる講話『志教育』の取り組みにおいて自分の将来について考える機会を設ける。また、下学年では、どんな自分になりたいのかを道徳や学活において考える場を設定する。							
	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上	・毎週金曜日は全校外遊びの日とし、教師も週に一度、外に出て児童と一緒に遊ぶ取り組みを継続する。 ・スポーツ祭りや、マラソン週間等の体を動かすイベントを企画し、児童が運動する機会を設定する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を毎週金曜日、第3水曜日と明確に設定し、意識して実践できるような取組を行う。 ・学期毎に学校運営や業務に関する振り返りを行い、業務の改善、課題の早期解決に努める。							
●特別支援教育の充実	○特別な支援を要する児童一人一人に合った合理的配慮を含む具体的な支援の充実	○年度末のアンケートで、「合理的配慮を含む具体的な支援を行うことができた」と答えた教員80パーセント以上。	・個別の教育支援計画・指導計画を作成する意義を伝え、具体的な書き方の例を提示し、7月の個人懇談まで作成してもらい、必要に応じてアドバイスをを行う。 ・特別支援エリアリーダーを招聘し、合理的配慮を含む具体的な支援について指導していただく機会を設定する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○あいさつレベルアップ	○さわやかあいさつプロジェクト	○「笑顔であいさつ さわやか西小っ子」の合い言葉のもと、「自分からすすんで」「笑顔で」「元気な声で」あいさつができた振り返る児童の割合80%を目指す。	・具体的なあいさつのレベル「自分からすすんで」「笑顔で」「元気な声で」を児童に示し、意識化を図る。生活アンケートにあいさつについて振り返りする項目を入れ、実態把握に努める。さわやかなあいさつができていく児童の紹介を生活の話の中で行う。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---